

**地域密着型サービス 運営推進会議 報告書**

事業所名：特別養護老人ホームしおさい新館

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日時：令和3年10月1日（金曜日）10時00分～10時30分

場所：しおさい会議室

出席者：8人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人		
事業所職員（職名：施設長 介護主任 ユニットリーダー）			3名

報告事項：

利用状況

- ① 入所者の人数 20名（退所0名 入所2名 定員20名）
- ② 要介護度 要介護5 10名 ・ 要介護4 10名  
要介護3 0名 ・
- ③ 男女比率 男性6人 ・ 女性14人
- ④ 年齢 62歳～97歳 平均87.1歳

介護状況

- ① 介護職員数 12名
- ② 有資格者数 10名（介護福祉士）
- ③ 起き上がり全介助 19名
- ④ 胃瘻 0名
- ⑤ 排せつ全介助 20名
- ⑥ 個浴：特浴 15名：5名
- ⑦ 肺炎入院 0名
- ⑧ 褥瘡 1名（新規入所者 病院で形成）

- ⑨ 重度拘縮 0名
- ⑩ 感染症罹患患者 0名
- ⑪ 苦情相談 0件
- ⑫ 身体拘束 0件
- ⑬ 受診以上の介護事故 1件(骨折)

## 1、施設長挨拶

明日は仁摩保育園の運動会を開催する。しかし3歳以上の園児で行う。新型コロナウイルスは県内で感染者がゼロにはならないが、しおさいでは予防対策を継続して行っている。ワクチン接種をしても感染する可能性があるので引き続き感染予防に努める。協力をお願いしたい。

## 2、サービス提供の状況

### ○医療受診を伴う事故説明

熱発と右足全体に激しい痛みがみられ救急搬送。右大腿骨転子部骨折、急性腎盂腎炎にて入院された。骨折箇所は保存的治療で病状も落ち着き9月10日に退院し、しおさいに戻られた。骨折の決定的な原因はわからず、身体をひねった際になったのではと考える。現在は朝、夕はリクライニング車椅子、昼はチルト式車椅子に移乗し、リビングにて食事は自力摂取されている。食欲もあり、身体の痛み等はみられていないが、今度も細心の注意を払いながらケアしていく。

### ○褥瘡のある利用者について

8月10日に入所された。病院では転倒・転落の危険性から車椅子で安全ベルトを使用していた。長時間座りっぱなしで形成された様。褥瘡自体も大きく仙骨部、両大転子部の3か所形成している。しおさいでは安全ベルトは使用していない。その人らしくいれるように、また、転倒・転落が最小限のダメージで済むように、居室や車椅子などリスクを減らすようなしつらえにしている。入所当時の処置は1日2回行っていたが、状態も良くなってきたので1日1回に変更した。褥瘡は蒸れや摩擦などのズレ、長時間の圧迫が影響する。蒸れは定期的なトイレ誘導やパット交換、圧迫は定期的な体位変換や除圧を行っている。しかし、よく動かれる方で床でいざ

っていることも多い。床と身体の摩擦やズレは中々難しいところだが、安全ベルトなどの身体的拘束はしない。

#### ○感染症対策

感染予防対策：委員会を原則毎月開催に変更。

警戒レベルを県危機管理課発表の災害警戒レベルに合わせて作成（資料添付）。

同基準に基づいて面会等対応。

県内発生中のため家族原則窓越し面会。

市内発生時は法人職員及び関係者の状況把握を実施。

緊急性低い場合は窓越し面会継続。

感染性の強い変異株対策として朝礼を中止しデジタル伝達に変更。集合型職員研修を減らすことを目的に動画視聴型研修の実施体制作りを推進。

感染症対策実地指導：厚労省感染対策実地指導に手を挙げるも事務局団体より講師派遣断念と回答。

管理職・現場役職者は厚労省研修動画を視聴完了。

#### ○機能訓練 今年度より作業療法士を配置

理学療法士：マッサージ、関節可動域訓練、臥床時の安楽体位作り、集合型体操、9月より巡回回数を増やす取り組みを開始

作業療法士：手作業や音楽療法中心

9月より手作りの用具を活用して訓練を実施

介護職員 日常生活動作の反復継続による機能維持・向上

#### ○行事報告

8月26日 夏祭り。コロナ渦ということで密を防ぐために一日を通して利用者の好きな時間に会場に来て、射的・ジュース釣り・かき氷・綿菓子・スイカ割り・ワニワニパニックなどのゲームを楽しまれた。一人一人が主役となれるような例年になく夏祭りとなった。

9月16日 敬老会。新館では米寿のお祝いの方が2名。石橋理事長より表彰状と記念品を授与された。コロナ前は保育園児やボランティアによる余興をしていたが、このような状況なのでレク委員が利用者の馴染みのある懐メロで銭太鼓を披露した。利用者が音頭をとり、マイクで歌を歌い、それに合わせて銭太鼓をするという賑やかな会となった。昼食は敬老会のメニュー

ということでいつもより豪華な食事で皆さんぺろりと召し上がられた。

#### ○ユニット活動

畑でスイカ、サツマイモ、イチジクが採れ、一緒に収穫しみんなで食べた。機能訓練指導員がカラオケ大会を開催し歌のお好きな方は参加され、馴染みのある歌を歌い「中々声がでませんな」と恥ずかしそうに歌われる様子もみられた。また、今年度より機能訓練指導員が3名体制となり、作業療法士による手作業や音楽療法もユニットで行っている。手作りで木のぬくもりある用具や、昔よく遊んだであろうお手玉やボールで個別・集団で訓練を行っている。利用者からの好評で、「有藤さん、ありがとう」と最後に作業療法士に声をかけている。利用者さんの心のケアと今まで見いだせなかった能力も発見できた。

#### ○その他

ご家族からの意見をもとにLINEworksという島根県と同様の情報発信、問い合わせ対応ができるようアプリを導入。事業所内活用指針を設け、情報共有に活用できるようにする。内容としてはLINEだけでなく、職員間ではグループを作成すれば仕事の連絡事項も共有できる。また個人情報を守られているので、ユニットで撮影した写真をタイムリーに家族に送ることもできる。

### 3、サービスへの要望、助言、質問等

(地域住民) コロナワクチンを接種した人はインフルエンザの予防接種は行うのか。予約や希望をとっているのか。

→(施設長) 現在、家族に確認をしている段階。須田先生はコロナワクチンを接種した人には推奨していない。

→(家族代表) 須田先生に相談したが反対された。しかし、父は接種してもらうことにした。

(地域住民代表) 大田市でコロナが発生したらどういった対応になるのか。

→(市役所職員) 保健所の指示に従うことになる。利用者が感染すれば入院、接触のある家族はPCR検査を受けて入院や自宅待機になる。具体的なものは…

→(地域住民代表) 大阪は自宅待機が多いと聞いている。買い物はどうしているのか。

→(市役所職員) 都会は買い物サービスがあるので、上手く活用しているのでは

ないか。

→(地域住民代表)大田市は全員入院になるのか。

→(市役所職員)分からない。病院も特定できない。同居の家族も同じ病院に入れるわけでもない。

→(家族代表)20代での感染が多いと聞いた。長男が都会におり、帰ってきたいといっている。反対したが、緊急事態宣言も解除されたので注意して帰ってくるようになった。妻はすごく気にしているが…

(家族代表)ワクチンを2回接種したら面会ができるところがあるが、しおさいはどうなのか。しかし出雲で感染者がでたのでダメなのかなとは思っている。

→(介護主任)先日会議で面会について話し合いを行った。今は事前予約の窓越し面会をお願いしている。

(家族代表)母親が敬老会で表彰されたが、記念品は何をもらったのか。

→(介護主任)米寿のお祝いとして、ベッドで横になっていても使うことができる肩掛けを贈らせてもらった。これから寒くなるし出番が増えればと思う。本人様も喜んでおられた。最近は年齢の若い方の入所が増えた。

(家族代表)LINEworks?少し教えてほしい。

→(介護主任)まだ、一部での導入でどこまでできるのかなんともいえないが、家族と利用者、家族と職員の情報共有のツールの一つとしてなればと考えている。例えば、施設内で軽微な事故が発生した際、毎月のお便りや面会時に報告しているがそれをLINEworksで報告、職員内で行う申し送りを手書きからLINEworksにデジタルへ変更できたらと。まだ活用については検討中で、活用が決まれば報告する。

→(市役所)それはタブレット端末なのか。

→(介護主任)いいえ。職員本人の携帯です。

→(施設長)通常のLINEと同じ。内部の連携として活用する。情報が漏れることはない。新館や特養全体など、それぞれでグループを作り、グループ内で情報をみることができる。最近はじめたところ。

(地域住民代表) 後見人制度で、後見人の人が入院した場合、どうするのか。

→(市役所) わからないので確認してみる。しかし、誰かが引き継ぐことにはなる。

(地域住民代表) 毎年この時期にサービス評価を記入していたが、今年もあるのか。

→(ユニットリーダー) 確認します。

## 5. 次回予定

令和3年12月3日(金曜日) 10時~11時